

# 平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立 桔梗中学校 学級数 14

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標

基礎・基本の徹底と「学び合い」「励まし合う」生徒の育成

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

## 取組の概要

### (1) 取組のきっかけ

本年度は、昨年度までの研究の成果と課題から生徒の実態を分析し、「教師側から与えられたものには真面目に取り組むが、自ら主体的に学習に取り組む姿勢がまだ不十分」ということがわかった。そこで、本年度は研究主題を「個性を發揮し、自ら意欲的に活動する生徒の育成～学び合いを取り入れた授業の工夫」とし、重点教育目標にある基礎・基本の徹底と「学び合い」「励まし合う」生徒の育成をねらいとした。

生徒が自らの意見を述べたり、教え合ったり、よさを学ぶ場面を意図的に設定することで、生徒たちは自ら気づき、学びを楽しむようになり、望ましい人間関係を構築するなど、「学び合い」の結果、生徒の個性の伸長が図られ、自ら生き生きと活動することができるという仮説を立てた。

そこで、各教科部会を柱に【研究推進グループ】を分け、①生徒による授業評価から実態の把握を行い、②研究推進グループ内で交流と研修に励み、③『学び合い』を取り入れた授業の研究を実践として取り組むこととした。

### (2) 取組の位置付け

研究担当を中心に教務部が中心となり校内研究の推進に努めている。

### (3) 取組の方法

研究担当が中心となって企画し、教務部内で授業評価のアンケート項目を検討し、1学期に1回、2学期に1回授業評価を行う予定である。

1学期の評価の分析から、さらに授業改善に努め、2学期の授業評価につなげるのと同時に、授業改善のポイントとして、『学び合い』を切り口に授業づくりをすすめている。授業評価のアンケートの他に、9月から教科部会を頻繁に開催し、11月の研究授業に向けて、全教員が学習指導案の提出を目指している。

## 取組の成果と課題等

### ○ 取組の成果

#### ① 生徒による授業評価

1学期末に全教科でアンケート形式による授業評価を行った。その考察は以下の通りである。

#### <全体を通しての考察から>

- ・『1. 授業について』の回答部分を見ると、全体的に概ね高い数値が出ており、各授業において先生方が、内容や指示、展開の工夫を行っていることがわかる。
- ・一方で、『2. 自分の学習活動の振り返り』では、どの学年も“自ら進んで〇〇する”という部分が弱いことがはっきりと見える。  
質問（1）進んで挙手・発表することができましたか  
質問（2）わからないことを質問して解決することができましたか
- ・今年の研究課題に挙げている『学び合い』については、「授業中に仲間と解決する場面がありますか」という質問では平均して「当てはまることの方が多い」と答えている。

#### ② 教科部会での話し合い

各教科でアンケート結果を参考にし教科部会を開いて話し合いを行い、『生徒が自ら進んで問題を解決する姿勢』と『学び合い』の場면을意図的に取り入れた授業の向上に2学期は取り組んだ。その成果については2学期末の授業評価アンケートの結果の考察から見取る計画である。

#### <話し合いのポイント>

- （1）これまでに授業で実践した『学び合い』の活動例
- （2）今後授業に取り入れてみたい『学び合い』の活動例

#### ③ 授業研究の実践

1月2日（金）に特設の研究授業（3年生理科）を開催し、全教員で参観し、校内研修会を行った。それぞれの教科で行った実践に研究授業で参考にすべきことを持ち帰り、さらに授業改善に向けての気運が教員間で高まった。

また、生徒たちについては、授業の際に作成した発表物を廊下に掲示し、互いに鑑賞する場を設けることで、生徒個人や学習グループごとの取り組みに自信を深めることにもつながり、さらには学習そのものに対する好奇心の向上が見られた。

#### ④ その他

『学び合い』をさせたことで、生徒の意欲の高まりが明確に見られたが、それだけではなく、生徒の意欲の高まりを教師側がいかにして学力の定着につなげるか（指導計画の検証と教師側のまとめ方の改善など）を研修するきっかけとなった。

### ○ 教育課程検証の方法

- ・学校評価（教職員による内部評価・保護者による外部評価）と計2回の授業評価による考察と研究部からの研究のまとめとを相互分析し、今年度の反省と次年度への改善を行う。

